

郵便  
報知新聞  
第五百八号

播州在州郡大坪村の信長堀坂伝六工が  
 妻三子を生り初め証生し時遍體皺  
 紋ありて古然る包裏に包むるに漸  
 小世氣を受て從ひ件の皺伸び廣くや  
 八九日及び及び幾馬き長大小兒とらぬ  
 四五歳に至りて力量抜群はて四斗俵や  
 玩弄し父母他不用更ありて出行く  
 兒が帯と五斗俵不結付置しが立歸りて  
 見ふに小児家ニ在らば那許へ行と  
 探し不見れば帯と俵不結付し俵戸の  
 外は走り出で戲を居るを明治  
 七年十一月六歳二月月日大坂相  
 撲頭取高崎要左門貫つれて名を  
 五方茂市号す才丈四尺五寸量甲六  
 五百日有といふ 龜洲漁人記



不後  
 金鶴堂

